

共通 チェック事項

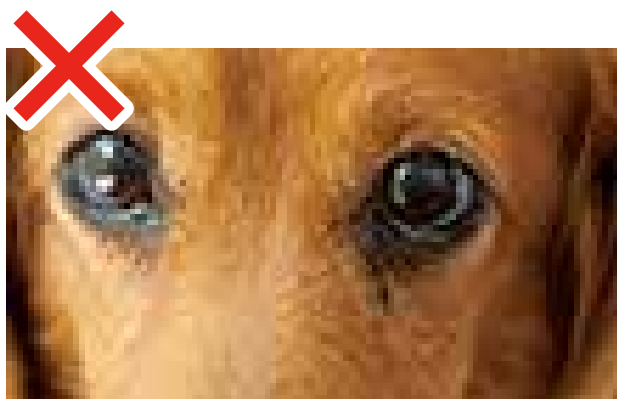
下記を必ずお読みください。再入稿の対象になりますと、納期が遅れる恐れがあります。

1. 解像度 が適正かチェック！

商品に使用する画像の大きさを
実寸大(mm)にし、
解像度**150～200dpi**に設定して
データを作成してください。
※解像度が低いと粗く印刷される
場合があります。



解像度200dpiのイメージ



解像度72dpi(粗い)のイメージ

2. カラーモード に注意！

RGB：モニター用のカラーモード
CMYK：印刷用のカラーモード
弊社では印刷の際、自動的CMYK
に変換されますので、
**RGBでのご入稿の場合は
色味が変わる恐れがあります**
CMYKでデータを作成頂くことを
おすすめいたします



CMYKモードで
制作したイメージ



RGBモードのイメージ



CMYKモードに
変換後のイメージ

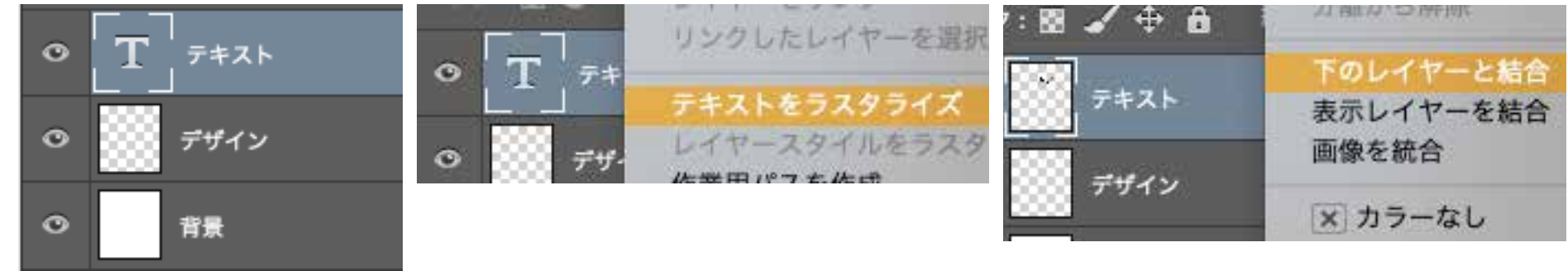
3. フォント情報 が残っていないかチェック！

テキスト（文字）のフォント情報が残っていると、別のフォントに置き換わってしまう場合がございます
フォントの形を保持するため、以下の方法で画像化する必要があります

Illustratorで作成されたものにフォント情報が残っている場合は、文字のアウトライン化をしてください



Photoshopで作成されたものにフォント情報が残っている場合は、各レイヤーごとに結合していただき、
一つの画像にしてからの入稿となります



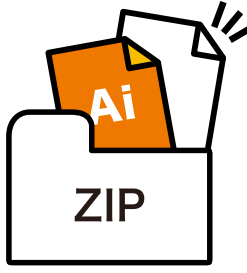
フォント情報が
残っている状態

右クリックでテキストを
ラスターライズ(画像化)

右クリックで結合して
デザインレイヤーを1つにまとめる

4. リンク 切れに注意！ (Illustrator のみ)

画像などのリンクファイルは、原則Illustratorと
一緒のフォルダ内に入れて入稿してください。
または、リンク画像を埋め込みして入稿してください。

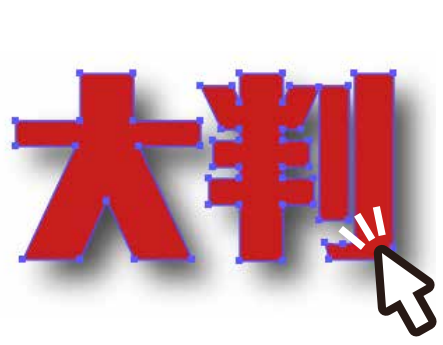


OR

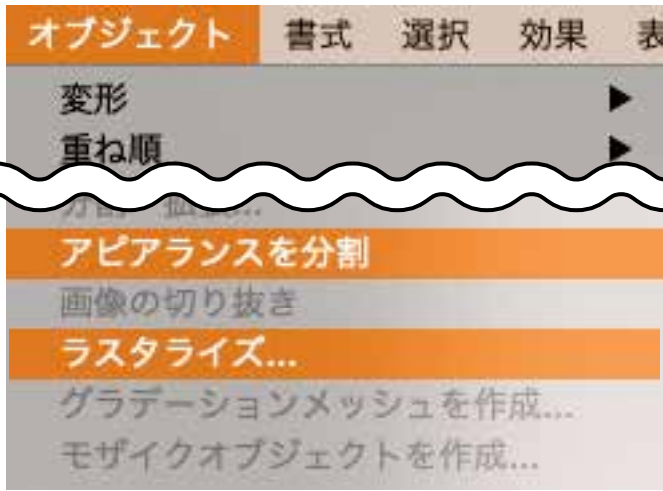


5. 効果・アピアランス・グラデーション・スウォッチ (パターン) は オブジェクト → 分割・拡張もしくはラスターライズ (画像化) する

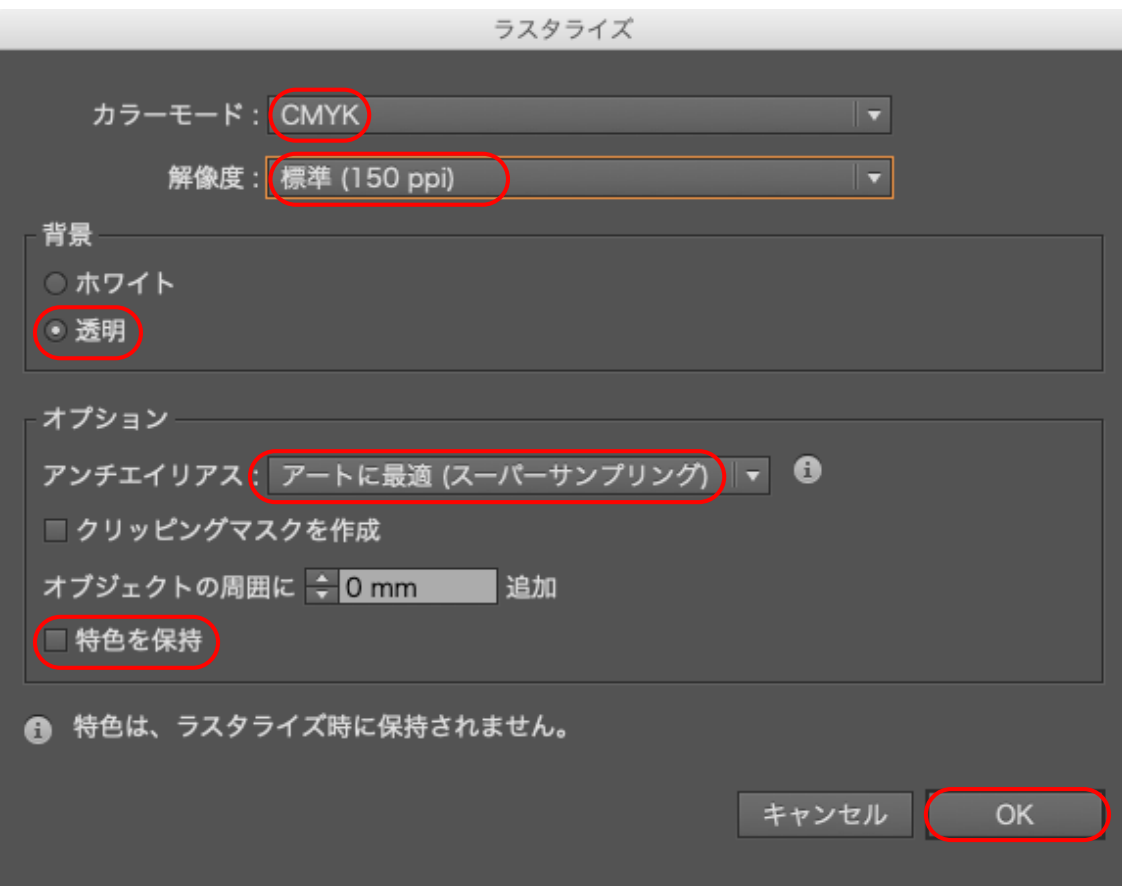
Illustrator上で使用した効果がエラーで消えてしまうのを防ぐため、画像化してください
※アピアランス(効果)→ラスターライズは画像化されません。使用しないでください



1,効果が使われている
オブジェクトを選択

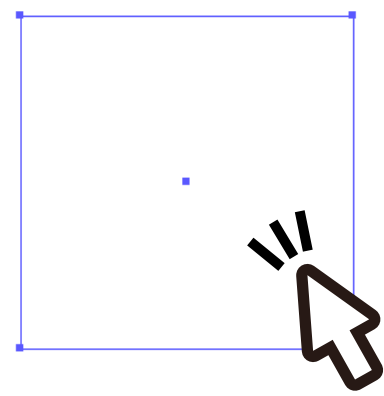
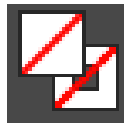


2,どちらか可能な方を選択して画像化

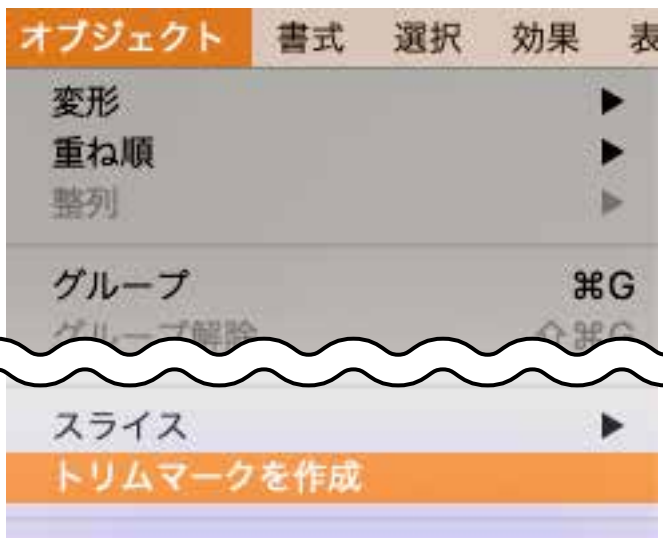


3,画像化されているか確認

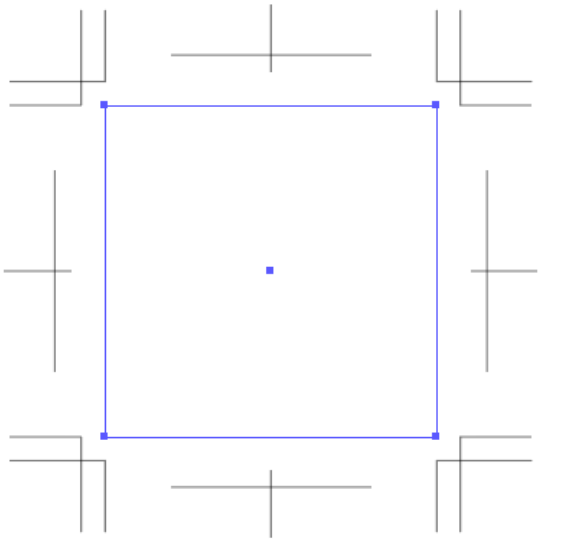
6. トンボ (トリムマーク) がついているかチェック！



1,制作サイズの塗りと線を
無しで作リ、選択



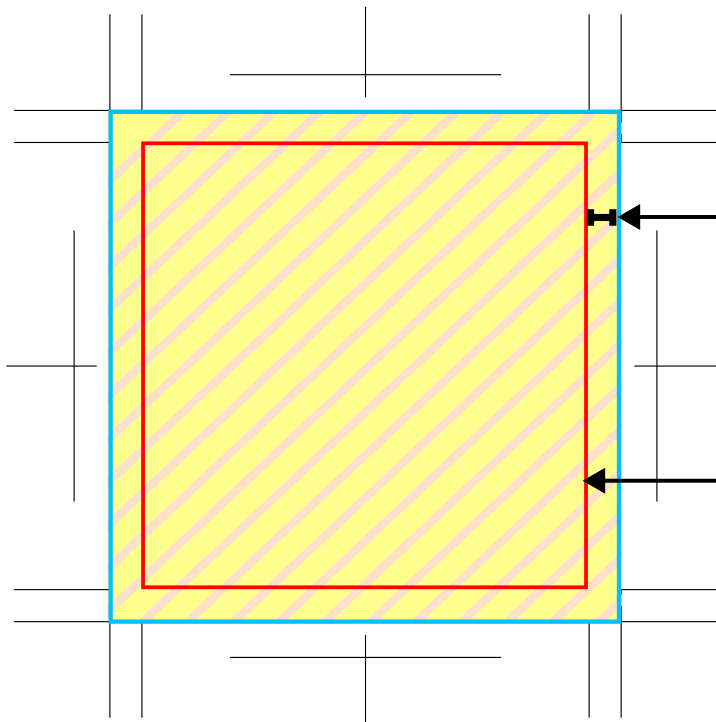
2,トリムマークを作成を選択



トンボはデザインの上に
配置してください

7. 塗り足し がついているかチェック！

塗り足しが無いと、白い部分が出たり、印刷面が切れてしまう可能性があります
※塗り足しのサイズは、商品により異なるため、商品ごとにご確認ください



塗り足し

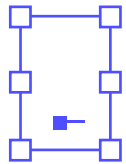
断裁ズレを目立たせないために、背景をここまで伸ばす

※塗り足し線 (青線) より外側にデザインがはみ出さないように注意

断裁線(仕上がり)

8. 不要なテキストボックス・レイヤーは削除！

デザインは「デザイン」レイヤーにまとめて入れて下さい。
入稿に必要な無いフォントや、レイヤーが無い最終チェックの上、全て削除してください。
また、各レイヤーは統合せずにご入稿ください。



✕ 空のテキストオブジェクト



クリックもしくは
ドラッグで削除



✕ 非表示レイヤー・使用していないレイヤー